



## 決まりを知って命を守る「自転車教室」

昨日1日(水)は、東警察署と地域の安全協会の方々を講師として招き、4年生を対象とした自転車教室を開催しました。

自転車は、子供たちにとって楽しくて便利な乗り物です。しかし、自転車は車両であり、法令違反等により交通事故を起こした場合、自動車等での事故と同様に、様々な責任が生じます。これらの責任は、未成年と言え免れることはありません。警察の方のお話の中で、「最近の例なんですけど、子供が事故を起こしたときに、いくら支払い命令が出たかわかりますか？」と質問があり、「正解は9500万円です。」という答えを聞いて、子供たちは驚いていました。自転車も保険に入ることの大切さや、ヘルメットのベルトは、指2本分開けて着用すること、道路上で自転車に乗るときは、左側から乗るなど、具体的なことも教えていただきました。子供たちの感想です。「今までは『ルールはどうして守らないといけないんだろう?』と思ったときがありました。でも今日、ルールのお話があったときに『ルールはたくさんの人の命や、自分の命を守るため』だと知って今日からルールをたくさん守ろうと思いました。」



自転車教室では、自転車の正しい乗り方を学び、事故にあわない・おこさないための交通ルールを学ぶことができました。自転車に乗るときは、帯西イエローの「きまりがわかり守る」の心をはたらかせ、帯西ブルーの「生命を大切に」の心を感じるようにしてほしいです。そして、安全に楽しく自転車に乗りましょう。

## みんなのために働くプール掃除

今日は、5・6年生がプール清掃をしてくれました。1年間使わなかったプールには、汚泥が溜まり、異臭を放ち、水を抜いたプールの中央には、ぬかるみができていました。そんな中を子供たちは、手際よく汚泥をバケツリレー形式で運び出すと、次は水を運び入れながら、たわしてプールの壁面をゴシゴシこすったり、デッキブラシでプール床面をこすったりしていました。昨年度は、コロナの感染防止の観点から6年生だけが行いましたが、今年度は5・6年生で協力してプール清掃を行いました。プール掃除について子供たちに聞くと「プール掃除をしないとみんな泳げないから、みんなのためにも頑張りたいです。」「梅雨に入って、掃除ができるか心配だったけど、これでみんなが泳げるから嬉しいです。」と答えてくれました。



今日は、帯西イエローの「働く喜びをもち、みんなのために役立つ」の心をはたらかせてみんなのためにプール掃除に尽力する5・6年生の姿がたのもしく見えました。今後、各学年で行う、プール開きが楽しみです。